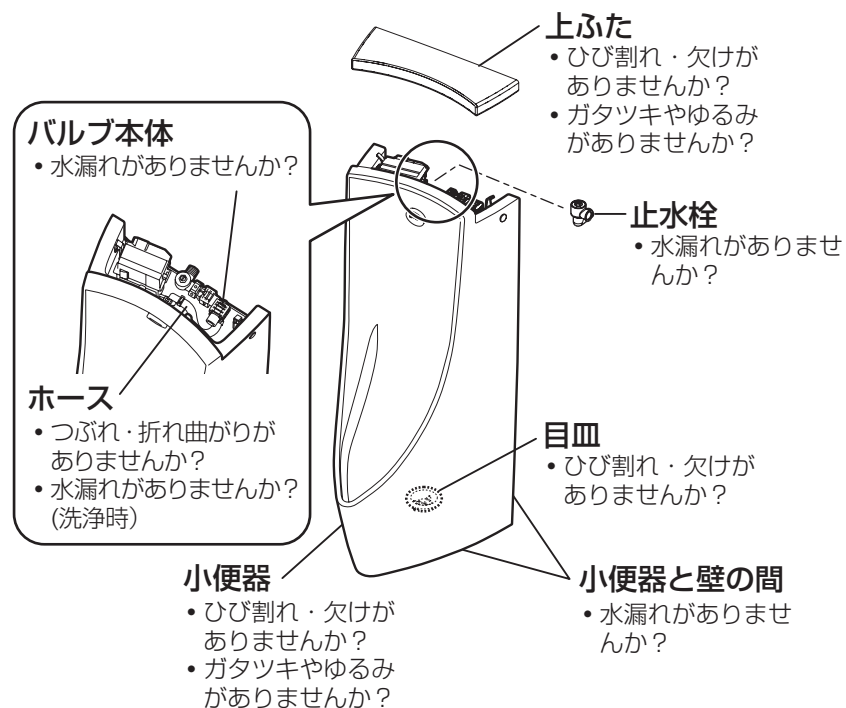


定期的な点検

商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、商品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を毎年1回は実施いただきますようお願いいたします。



点検箇所	実施日(年・月・日)			点検箇所	実施日(年・月・日)		
小便器	/	/	/	小便器と壁の間	/	/	/
上ふた	/	/	/	バルブ本体	/	/	/
目皿	/	/	/	止水栓	/	/	/
ホース	/	/	/				

掃除口の取り外しおよび取り付け(掃除口タイプのみ)

衛生面から作業前に必ずゴム手袋を着用ください。

使用工具



締付工具(付属品) ※締付工具は表面を使います。
 ※締付工具はお客様に必ずお渡しく下さい。

[取り外しかた]

⚠注意

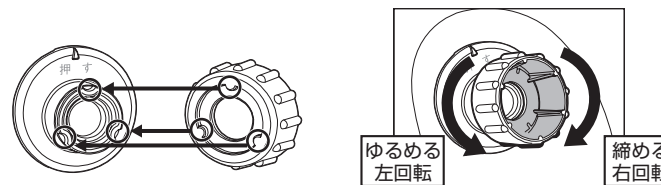


小便器に異物が詰まり掃除口のふたを開ける際には、必ず便器内の汚水を抜いてから行う

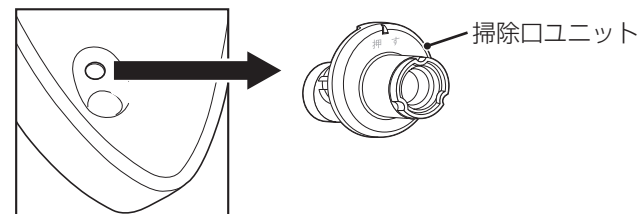
必ず実行

小便器内の汚水があふれ、床を汚すおそれがあります。

- 1 止水栓を閉める。
- 2 小便器内の汚水を抜き、床を汚さないために、小便器の下に厚手のぞうきんなどを用意する。
- 3 目皿を取り外し、締付工具を掃除口ユニットの凹部にはめて左に回転する。
 ※掃除口ユニットをガタつくところまでゆるめてください。
 ※掃除口ユニットが供回りしないように押えてください。



- 4 掃除口ユニットを取り外す。
 ※掃除道具で小便器を傷付けないように作業してください。



お手入れ

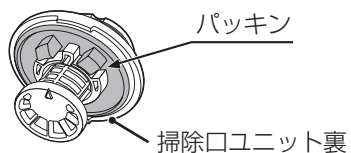
[取り付けかた]

注意

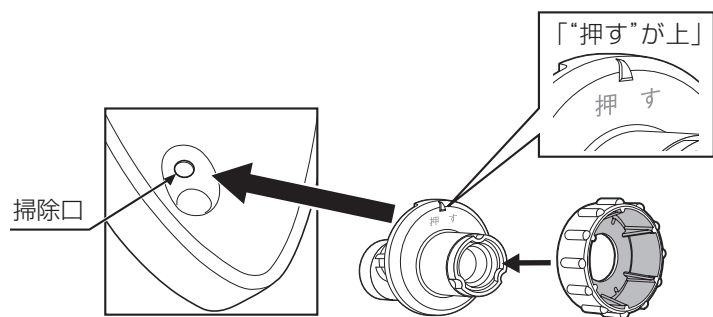


掃除口ユニットは必ず上下方向を確認して便器に取り付ける。誤った向きに取り付けると排水不良の原因になるおそれがあります。

- 1 掃除口ユニットが下図のように組み立てられていることを確認する。
※パッキンがずれている場合は溝にはめてください。



- 2 掃除口ユニットを掃除口に取り付ける。
※掃除口ユニットの表面に“押す”と書いてあるほうを上に向けてください。

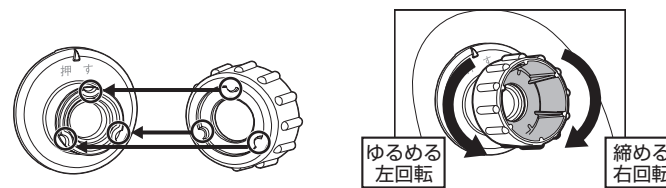


※掃除口周辺のごみや水分を取り除き、掃除口ユニットを取り付けてください。

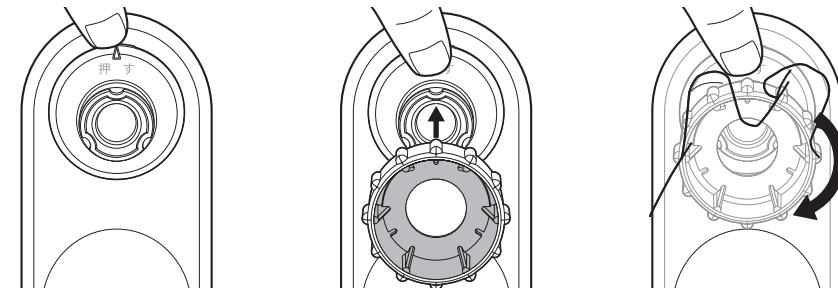
- 3 掃除口ユニットの“押す”を押したまま、締付工具で締め付ける。

[締付工具の使いかた]

締付工具表面の3箇所の凸を掃除口ユニットの凹にはめて回転する。



- ① “押す”を便器に押し付ける
- ② 締付工具をはめる
- ③ 締める：右回転



- ④ 手を放してフランジ端部が便器からガタつかない程度に締め付けてください。
※無理に締め込むと破損のおそれがあります。

- 4 掃除口ユニットがガタつかないことを確認し、目皿をかぶせる。

